

# 土地改良記念碑探訪

曾於の農道整備

- 広域農道有明大橋（1982）  
～広域農道有明大橋開通記念碑～

広域営農団地農道整備事業（通称広域農道）は、昭和44年（1969）から県営事業として制度化されている。

曾於地域の広域農道は、22,200ヘクタールの地域農業の振興を図るため整備されたもので、地域内のほぼ中央を南北に縦断し、北は末吉町小倉で国道10号線と、南は大崎町益丸で国道220号線と連なる46.1キロメートルの幹線農道である。

その一部である有明大橋は、有明町川添で菱田川に架設された橋長222メートル、全幅8.25メートルの逆ローゼ橋で、昭和52年から56年（1977～81）の工事期間を要して完成した。

有明大橋は、曾於地域の開発を象徴する重要な構造物である。



- ◇ 参考文献:「鹿児島土地改良記念碑」より抜粋
  - ◇ 発行:鹿児島県土地改良事業団体連合会
-